



Support your life



いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます



平素より、地域の医療機関の皆様には大変お世話になっております。

患者支援センターは、2018年度より「地域連携室」「入退院支援室」「在宅医療支援室」の3室の体制で運営を開始し、3年が経過しようとしています。当センターでは、地域の皆様とスムーズな連携を図るため、各室間において定期的な情報交換や学習会などを実施し、地域の皆様からのご相談に迅速に対応できるように日々精進しております。

現在は新型コロナウイルス感染症の影響により、医療機関への訪問や医療・介護関係職の方々との対面での研修会もなかなか実施できておりませんが、今後も地域の医療機関・介護関連施設の皆様と顔の見える関係をつくり、シームレスな医療・看護・介護の連携強化を進めていきたいと考えています。

今後も皆様から信頼され、より身近な存在となれるよう、患者支援センターを運営していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



在宅医療支援室
かかりつけ医の推奨



在宅医療支援室では、当院入院中の患者さんが安心して在宅医療へ移行できるように退院前・退院後訪問指導を行っています。

病棟看護師、退院支援担当者、病棟専任社会福祉士がチームとなり、在宅を見据えたカンファレンスを実施します。自宅での生活や医療ケアの手技に不安のある患者さんやそのご家族に対し、病棟と在宅医療支援室の看護師が一緒に訪問を行っています。

訪問時には、生活環境の確認や調整、在宅での医療ケアを行う環境の整備・手技の確認等を行い、必要時には地域の医療関係者への引継ぎを行っています。

在宅酸素導入の患者さんには、家での生活上の注意点や実際の動き方などの指導、ストマ造設の患者さんには、自宅での日常生活に即した方法で手技指導を行っています。

外来通院中の患者さんには、外来看護師と連携を取り、患者さんや家族の困っていることや、抱えている問題を共有し支援しています。

今後も地域の皆様とより良い連携が取れるよう努めてまいります。

入退院支援室（入院支援）

入院前の不安を取り除く



入退院支援室（入院支援）では、全診療科の予定入院の患者さんに対して、少しでも不安なく入院してもらえよう、入院前に患者情報の確認と入院の案内を行っています。そして患者さんやそのご家族には、入院に向けて家庭や仕事、退院後の暮らしについて、自らも準備を進めてもらえるよう声掛けを行っています。入院前に把握した情報は院内の関係者（病棟看護師・社会福祉士・薬剤師・栄養士・退院支援担当者・認定/専門看護師など）だけでなく、院外のケアマネジャーや訪問看護師などとも共有し、連携を図りながら、スムーズな退院支援につなげられるよう取り組んでいます。

またコロナ禍においては、患者さん自身の安全と、病院の機能やスタッフを守る観点から、入院者全員に入院前の体調とリスク行動の確認を行い、コロナ検査（LAMP法）を実施しています。



入退院支援室（退院支援）

親身になって考える



入退院支援室（退院支援）では、緊急入院された患者さんによっては潜在化された問題や不安が多岐にわたっています。また、コロナ禍の状況により私たちが“普通”とされていた生活が脅かされ、入退院される患者さんやご家族にも制限された中で入院生活や退院後の生活を考えていただく必要ができました。私たちソーシャルワーカーは、変わりゆく社会情勢に敏感にアンテナを張り、患者さんの問題を早期に発見し、ニーズの把握のために医師・病棟看護師等と連携し、治療をスムーズに受けることができるよう、他施設・他職種の皆様からの貴重な情報を元に環境整備を行っています。また、患者さんやご家族からのご希望に少しでも応えるべく、患者さんの意思決定を尊重しその想いに寄り添い、今後の見通しを立てながら多岐にわたる問題に対し真摯に介入を行っています。そして、患者さんの意思をできるだけ的確に、しかもタイムリーに他機関の皆様と連携し、患者さんが住み慣れた地域で生活できるよう、患者さんやご家族を支える一員として皆様と一緒に考え、行動していきたいと考えております。今後ともご指導の程よろしくお願いたします。



地域連携室

地域の顔として

地域連携室は、室長、副室長、看護師、事務の計15名体制（2021年3月1日現在）で、かかりつけ医などの地域の医療機関からの紹介患者さんの受付窓口（FAXやWEBによる外来診察予約やCTやMRIといった検査予約）、紹介元医療機関への受療報告とその進捗管理（報告漏れがないかのチェックや漏れがあった場合の医師への依頼）、地域医療機関への情報提供を目的とした広報誌の作成や研修会の開催、連携強化を目的とした地域医療機関への訪問、地域医療連携にかかる各種実績管理など、様々な業務を行っています。地域医療機関等と円滑に連携できる体制を目指し、患者さんが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう、東播磨圏域の地域医療への貢献に努めています。



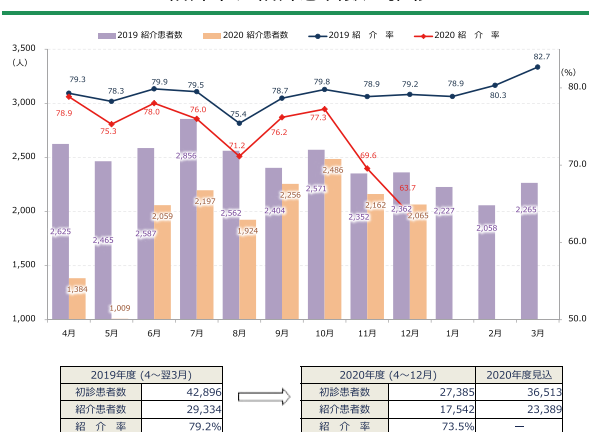
地域への 情報発信

患者支援センターをデータで見る

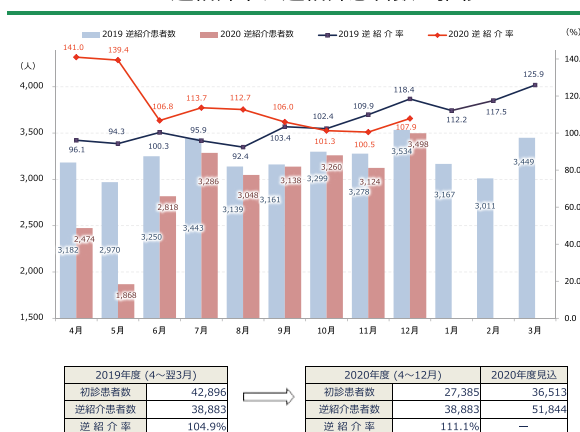


今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の一環として、当院でも一部診療を制限させていただきました。その影響もあり、例年と比べると患者数の減少に伴い、紹介率・逆紹介率をはじめ様々な数値も減少しています。しかし地域の医療提供体制を崩すことなく、運営できたのも、地域の医療機関及び介護関連施設との連携があってこそと思います。次年度も引き続き宜しくお願いいたします。

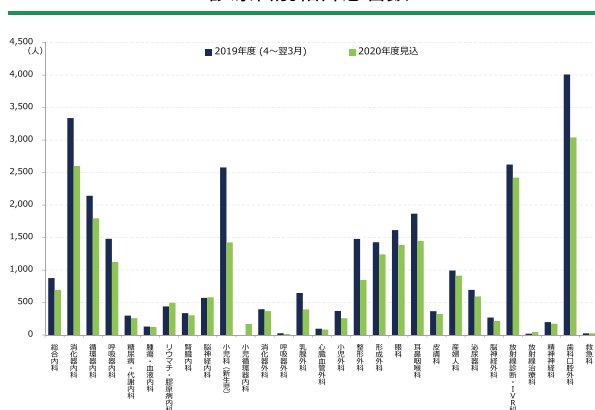
紹介率、紹介患者数の推移



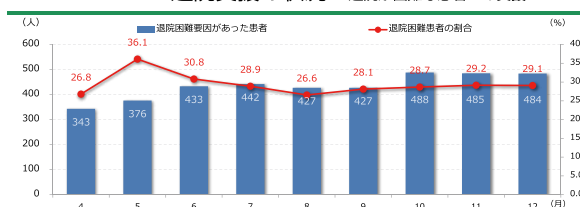
逆紹介率、逆紹介患者数の推移



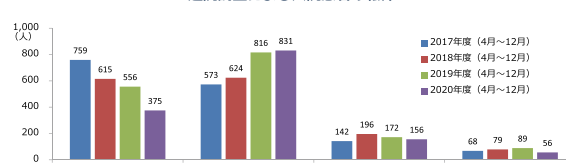
診療科別紹介患者数



退院支援の状況 退院が困難な患者への支援

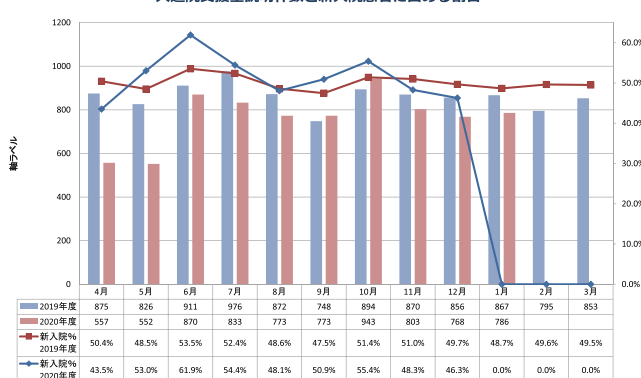


退院調整による入院患者の転帰



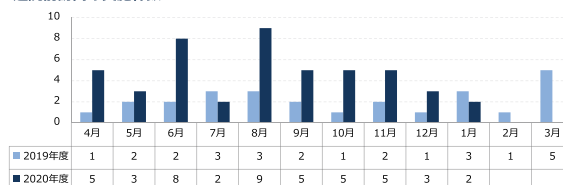
入院支援の状況

入退院支援室説明件数と新入院患者に占める割合

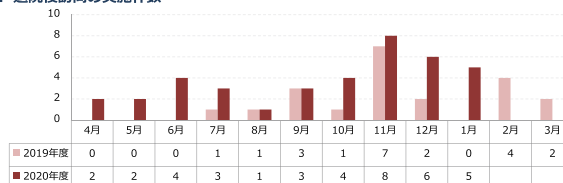


退院前・後訪問の状況

1. 退院前訪問の実施件数



2. 退院後訪問の実施件数





加古川中央市民病院 地域連携セミナーを開催します。

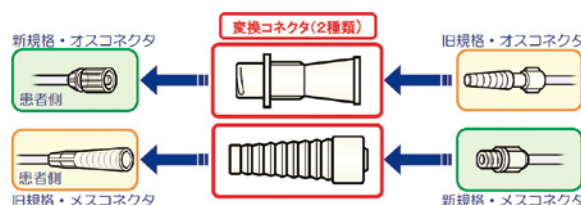
昨年2020年度の地域連携会議は、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむなく中止とさせていただきます。3月に入り、ワクチンの供給が開始されましたが、収束に至るにはまだまだ時間がかかり、引き続き感染防止対策を講じる必要があります。そこで、地域の医療機関及び介護関連施設の皆様との連携強化を図るべく、「地域連携セミナー」を次年度も予定しております。日程は下記の通りとなっておりますので、多数のご参加をお待ちしております。セミナーの詳細については、別途ご連絡いたします。

日時：2021年6月10日（木）18：00～（約1時間程度）
*Webセミナー（Zoomによる）を予定しております。

誤接続防止コネクタの導入のお知らせ

この度、当院では分野間の相互接続を防止するコネクタに係る国際規格の制定により、経腸栄養分野において、3月から新規格製品の導入を順次行ってまいります。

詳細につきましては、3月上旬に発送いたしました資料をご覧くださいませようお願い申し上げます。医療現場における医療事故の防止の観点より、新規格製品と既存規格製品が長期に混在することを避けるため、速やかな新規格への切り替えに何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。



地域連携室からのご挨拶

2020年度は本号をもって最終となります。地域の医療機関・介護関連施設の皆様とのより深いつながりを持つべく、発行させていただいております。次年度以降も、引き続きより良い「地域連携情報誌」を目指してまいりますので、ご指導・ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

文責：地域連携室 副室長 白井 裕基

